

九大病院だより

Public Relations Magazine of Kyushu University Hospital 2010.09



九州大学病院
KYUSHU UNIVERSITY HOSPITAL

患者さんのご協力が
必要です。
よろしくお願いいたします！

■明日への医療 — 治験に参加してみませんか……？ —

治験とは……？

現在、数多くの医薬品が医療のさまざまな分野で使用され、多くの患者さんがその恩恵を受けています。新しい薬が患者さんに使用されるようになるためには、その効果と安全性を調べるため、多くの研究が行われます。

その中でも、お薬の候補を「薬」として国に認めてもらうために行われる臨床試験のことを治験といいます。

治験には、研究的または試験的な側面がありますが、治験に参加すると現在海外では使用が認められているのに日本では使用が認められていない医薬品にチャレンジできる場合もあります。お薬の候補が「薬」として世にでるためには専門の医師と患者さんのご協力による治験が必要です。

治験に参加するには……？

参加のための条件（参加基準）と合致することが必要です。詳しくは医師または高度先端医療センターへお尋ねください。



外来診療棟1階患者さん受付窓口

治験中はCRCがサポートします！

治験参加期間中は、CRC（臨床研究コーディネータ）が患者さんやご家族をサポートするとともに、治験がスムーズに実施されるように、さまざまな調整や支援を行います。本院のCRCは看護師・薬剤師です。

新しい治療法や新薬を開発中の疾患

現在実施中の治験

2型糖尿病、関節リウマチ、多発性硬化症、慢性骨髄性白血病、胃がん、腎がん、前立腺がん、肺がん、膵がん、肝細胞がん、子宮頸がん、潰瘍性大腸炎、クローン病、機能性ディスベプシア、アルツハイマー病、うつ病、ぶどう膜炎、加齢黄斑変性症、糖尿病性黄斑浮腫、気管支喘息、慢性閉塞性肺疾患、慢性心不全、肺高血圧症など…

お問い合わせ

◎九州大学病院高度先端医療センター TEL 092-642-5858（平日9：00～16：30）
ホームページ <http://www.med.kyushu-u.ac.jp/crc/>

コラム
Column



病理診断による 病気の診断

病理部長

おだ よしなお
小田 義直
Yoshinao Oda

病理部では病理医という皆さんには直接お目にかからない医者が病理診断を行っています。病理診断とは患者さんの身体から採取した組織をプレパラート（ガラス板）に貼り付けた標本にして、顕微鏡で観察し病気の診断を行います。

特に腫瘍の分野では病理診断名が最終診断名となり、その

後の治療方針決定の上でも時には主治医以上に治療方針に決定的な役割を果たすため、病理医は Doctor s Doctor とも呼ばれています。

一昔前であれば診断名だけが分かれば良かったのですが、近年では病変の広がりやその程度を詳しく評価してその後の治療に反映させるため、一症例あたりの標本数が増えて、診断項目も多くなっています。さらに最近では乳がんの抗がん剤感受性テストに代表されるようにさまざまな腫瘍に対しての個別化治療の決定にも病理診断が重要な役割を果たしています。

皆さんを直接診察するわけではありませんが、臨床診療科の主治医の先生と密接に連携をとりながら、個々の患者さんに最良の医療を提供する手助けをするために日々努力してまいりますので、どうぞ宜しくお願いいたします。

▶▶▶ 診療科のご案内 ①

小児歯科

当科では、1次医療機関からのご紹介患児と心身障害児(者)の歯科治療を他科との連携を密に行いながら、3次医療機関としての役割を果たしてきました。治療の一環として歯科処置後も再発を防止するとともに、新たな歯科疾患の予防、早期発見・治療にも力を入れています。

その取り組みのひとつとして、本年9月より新たに Dental Drug Delivery System (3DS) を導入しました。3DSは、歯の表面に付着する性質をもったむし歯の原因菌(ミュータンス菌)を抗菌剤入りのオーダーメイドのマウスピースを用いて効果的に除菌する方法です。これによりお口の中の悪玉菌を減らし、善玉菌を増やすことで、むし歯になりにくい環境へと変化させることが可能です。

3DSは、むし歯だけでなく歯周病など年齢を問わず使用できる応用範囲の広いツールです。興味のある方は、ぜひご相談ください。



3DS用マウスピース

▶▶▶ 診療科のご案内 ②

麻酔科蘇生科



全身麻酔導入の様子

当科は、患者さんが安心して手術を受けられるように、外科医、看護師、薬剤師、臨床工学士たちと共にチームを作って周術期医療に取り組んでいます。移植手術、内視鏡手術、新生児手術といった高度で先端的な手術から、外傷、血管破裂、帝王切開といった緊急を要する手術まで、あらゆる手術の麻酔管理を、情熱あふれる医員や研修医たちと共に経験豊富なスタッフが24時間体制で担当しています。私たち麻酔科医は安全かつ苦痛のない周術期管理を心がけています。

また外来(ペインクリニック)では、難治性の痛み苦しんでいる患者さんに対して、薬物療法や神経ブロック療法だけでなく、全人的なアプローチで痛みの軽減を図っています。

■ピンクのユニフォームは外来の看護師です

白衣の天使と言えば看護師の代名詞ですが、看護師のユニフォームは、1854年にナイチンゲールがドレス型服装を着用したのが始まりでした。本院は昭和初期にロングドレス型を取り入れ、戦時中ではもんぺ姿、ワンピース型となったのは昭和30年代後半です。ナースキャップはもちろんのこと靴・靴下も白で統一、まさに「白衣の天使」姿でした。

その後、平成12年に機能的なパンツ・スタイル型を導入、平成15年には看護師の象徴であったナースキャップを廃止しました。看護師にとってナースキャップは特別な意味がありました。看護師としての誇りと使命、責任の重さを戴帽式という儀式で自覚さ

せられるからです。廃止したその当時、戸惑い、不満だったのは患者さんたちも同じでした。

平成21年9月28日、新外来診療棟開院を機に外来看護師のユニフォームをピンク色の花柄としました。襟や袖口・ポケット口は白の配色をあしらって清楚なデザインとし、左袖には九州大学病院と九州大学のロゴマークを刺繍しています。100年の時を経て「白」から「カラー」へと変わりましたが、患者さんの目にはどのように映っているのでしょうか。優しい雰囲気を実感したピンクの花柄ユニフォームは外来勤務の看護師です。受診の際は気軽にお声かけください。

第2回 家庭でできる口腔管理

多くの人がかかっている歯周病

— 家庭でできる歯周病管理 —

歯周病科 藤瀬 修

歯周病は世界で最も多くの人がかかっている病気としてギネスブックに登録されています。歯周病が進行すると、歯茎からの出血、歯のぐらつき、口臭、歯茎の腫れや痛みを自覚します。しかし、歯周病は「沈黙の病」とも言われる病気です。病状が進行するまでは自覚症状がほとんど現れません。従って、自覚症状がなくても歯科医院での定期的検診や家庭での管理が必要です。歯周病の管理ができていないと、全身的な病気にまで影響を与えることがあります。

磨き残しから生じる歯垢(プラーク)は細菌の塊であり、歯周病の原因です。家庭での歯周

病管理として、毎日歯ブラシで歯垢を除去することは非常に重要です。歯間ブラシや糸ようじの併用も有効です。超音波ブラシや殺菌作用がある洗口液の使用も有用ではありますが、過信は禁物です。就寝前は十分に時間をかけて丁寧に磨いてください。

歯周病は体の免疫力が弱まると進行する病気ですから、全身的な体調管理にも気を付けてください。写真は歯磨きを一晩だけしなかった時の歯垢で、染色前(左写真)と染色後(右写真)です。歯垢のある部分が赤く染め出されています。



ひと晩で増える歯垢



外来の 朝礼いつも 花畑——看護師川柳より

別府先進医療センターの
ご紹介

診療放射線室



当診療放射線室のスタッフは、放射線科専門医と診療放射線技師、そして受付職員で構成され、「迅速、丁寧な対応、適切な医療情報の提供、放射線の適切な使用と医療被ばく低減」をモットーに各種放射線検査とその画像提供および放射線治療を行っています。

主な業務内容は、一般X線撮影、乳房撮影(マンモグラフィ)、X線透視造影検査、心臓および血管撮影検査、X線CT検査、MRI検査、骨塩定量検査(骨密度)、放射線治療(リニアック)です。

また当室は、九州大学病院本院(福岡地区)と専用ネットワーク回線で結ばれており、放射線診断や放射線治療をより確実なものとしています。

このほか近隣施設からの委託検査の対応や、別府地区のみならず遠方からも高精度放射線治療(肺定位放射線治療および画像誘導放射線治療等)のご依頼にも対応しています。

九州大学病院の施設が「蓄熱のつどい」で感謝状を受賞しました

7月15日に、財団法人ヒートポンプ・蓄熱センター*主催の「第13回蓄熱のつどい」の「拡める部門」で、感謝状を受賞しました。

受賞理由は、空調設備に氷・温水蓄熱、床暖房に床蓄熱を行い、CO₂排出量の少ない夜間電力を利用して昼間の電力を抑制することで、コスト削減と環境負荷低減を同時に達成していることが高く評価されました。この部門で受賞した大学は本学だけです。

*財団法人ヒートポンプ・蓄熱センターは経済産業省所管の公益法人で、蓄熱システムの普及を行っています。



蓄熱式床暖房を用いたエントランスホール

外来診療日一覧

- 休診日 土曜日、日曜日、祝日、年末年始(12/29-1/3)
- 初診受付時間 8:30-11:00 (自動再来受付機 8:15-17:00)
- 外来玄関開閉時間 7:30-18:00

■外来診療棟

階/受付	診療科名	初診日	再診日
4階/西	心療内科 TEL 642-5335	月・木	火・水・金
	呼吸器科 TEL 642-5388	月・水・金 <small>※要紹介状</small>	月・火・水・金
	■外科 ◎消化管外科(1)◎胆道、膵臓、膵臓移植・腎臓移植外科 ◎呼吸器外科(1)◎乳腺外科(1) ◎内分泌外科 TEL 642-5453	火・木	火・木
	■外科 ◎消化管外科(2)◎肝臓、脾臓、門脈、肝臓移植外科 ◎呼吸器外科(2)◎乳腺外科(2) ◎血管外科 TEL 642-5479	月・水・金	月・水・金
4階/東	産科婦人科 TEL 642-5409	月-金 <small>(産科のみ)</small>	月-金
4階/東第2	再生歯科・インプラントセンター TEL 642-6361	月-金	月-金
3階/西	■内科 ◎血液・腫瘍内科 ◎免疫・膠原病・感染症内科 ◎消化管内科◎腎・高血圧・脳血管内科◎内分泌代謝・糖尿病内科◎肝臓・膵臓・胆道内科 ◎先端分子・細胞治療科 TEL 642-5302	月-金 <small>※曜日によっては専門医が診察できない場合があります。</small>	月-金
	■ハートセンター外来 ①循環器内科②血液・腫瘍内科 TEL 642-5371 ③心臓血管外科 TEL 642-5565	①月-木 ②火-金 ③月・水・木	①月・水 ②火-金 ③水・木
3階/東	皮膚科 TEL 642-5597	月・水・金 <small>※要紹介状</small>	火・木
	耳鼻咽喉・頭頸部外科 TEL 642-5681	火・木	月・水・金

■北棟

階/受付	診療科名	初診日	再診日
5階/西	小児科 TEL 642-5430	月-金 <small>※専門医が診察できない場合があります。</small>	月-金
	小児外科、小腸移植外科 TEL 642-5578	月・水・金	月・水・金
	臨床遺伝医療部 TEL 642-5421	月-金	金
	小児歯科 TEL 642-6465	月-金	月-金
	矯正歯科 TEL 642-6460	月-金	月-金
5階/東	全身管理歯科 TEL 642-6483	月-金	月-金
	顎口腔外科 TEL 642-6445	月-金	月-金
	顔面口腔外科 TEL 642-6450	月-金	月-金
	歯科麻酔科 TEL 642-6479	月-金	月-金
	歯周病科 TEL 642-6425	月-金	月-金
4階/西	歯内治療科 TEL 642-6430	月-金	月-金
	咬合補綴科 TEL 642-6435	月-金	月-金
	義歯補綴科 TEL 642-6440	月-金	月-金
	歯科総合予診 TEL 642-6500	月-金	月-金
	口腔画像診断科 TEL 642-6471	月-金	月-金
4階/東	口腔総合診療科 TEL 642-6490	月-金	月-金

平成22年9月現在

階/受付	診療科名	初診日	再診日
2階/西	神経内科 TEL 642-5349	火・木・金	月・水
	脳神経外科 TEL 642-5533	月・水・金	月・水・金
2階/西第2	泌尿器・前立腺・腎臓・副腎外科 TEL 642-5615	火・木	月・水・金
	精神科神経科 TEL 642-5640 子どものこころの診療部 TEL 642-5642	火・木	月-金
2階/東	眼科 TEL 642-5660	月・水・金	月-金
	整形外科 TEL 642-5504	月・水・金	金
1階/西	放射線科 TEL 642-5705	月・水・金	月-金
	総合診療科 TEL 642-5300	月-金	月-金

棟	階	診療施設等	電話番号
外来診療棟	4階	ストーマ看護外来	642-5479
	4階	助産師外来	642-5900
	3階	糖尿病フットケア外来(※)	642-5302
	2階	外来化学療法室	642-5125
	2階	がん相談支援室・緩和ケア	642-5200
	2階	総合案内	642-6270
	2階	外来受付	642-5138
	2階	入院受付	642-5150
	2階	公費相談窓口	642-5153
	2階	支払窓口	642-5169
南棟	1階	患者相談窓口	642-5132
	1階	地域医療連携センター	642-5165
	1階	社会福祉相談窓口	642-5167
	1階	在宅療養支援室	642-5185
	1階	高度先端医療センター	642-5858
	2階	栄養相談室	642-5180
	1階	時間外受付	642-5163
1階	リハビリ受付	642-5862	

※赤色の曜日は予約が必要です。 ※電話予約受付時間14:00-16:00 予約に関するお問い合わせは、各診療科外来へ直接お電話ください。(市外局番は「092」です)
※再来の方でも、1年以上受診されていない場合には、初診の曜日・時間となる場合がありますので、あらかじめ受診科「外来」にお確かめ願います。

病院にお越しの際は保険証をお忘れなく!

※保険証の提示がない場合には、保険の取扱いができません。

外来患者さんへ

◎本院のお薬は原則として「院外処方」としています。「院外処方せん発行」にご協力ください。
◎外来患者さん用の駐車場を準備していますが、駐車台数が限られていますので出来るだけ公共の交通機関をご利用いただきますようお願いいたします。

■病院の理念

患者さんに満足され、医療人も満足する医療の提供ができる病院を目指します。

■基本方針【理念に基づく実行目標として、下記の5つを掲げています】

- ①地域医療との連携及び地域医療への貢献の推進
- ②プライマリ・ケア診療の充実
- ③全人的医療が可能な医療人の養成
- ④専門医療の高度化を目指した医学研究の推進
- ⑤国際化の推進